

功報

軍機

海軍航空隊第一〇〇號  
第一〇〇號  
第一〇〇號



海軍航空隊 (串本基地) 戦況詳報 第五號

海軍航空隊

九月  
八日  
送



1352

舞鶴海軍航空隊（申本基地）戦闘詳報 第五號

昭和十七年八月二十一日

一、形勢

(1) 營隊哨戒機商船ノ前路哨戒中二十一日一〇一三樫野崎燈臺一八〇度三  
浬（報告位置樫野崎燈臺一六一度二浬）ニ於テ潛沒敵潜水艦ヨリ漏出  
シツツアル油（潜水艦ノ實体ヲ認メ得ズ）ヲ發見一〇二二之ヲ爆撃セ

(2) 受領セル令達

阪警電令作第三九號 八月二十一日 一二〇〇

(3) 本日一〇一三舞鶴航空隊哨戒機ハ樫野崎ノ一六一度二浬ニ於テ敵潜水  
艦ヲ發見攻撃ス

(4) 海面防備部隊及航空部隊ハ緊密ナル協力ノ下之ヲ擊滅スベシ

(5) 天候

晴。西ノ風二米。視界三〇浬。海上平穩。邊視良好

二、計 畫

(イ) 命 令

飛行機隊ハ全力ヲ以テ敵潜水艦ヲ連続攻撃スルト共ニ味方水上艦艇ヲ誘導スベシ

(ロ) 使用飛行機

零式水上偵察機 三機

(ハ) 飛行機隊編制

飛曹長 藤川彦二	二飛曹 向井一三	中尉 荒木泰彦	飛曹長 田村益十	操縦員	偵察員	電信員	兵	裝
二飛曹 角崎良次	一飛曹 笠原正敏	二飛曹 伊香利夫	二飛曹 中村高尾			三飛曹 高橋金一	六番爆彈四	
	二飛曹 山根幸男	二飛曹 小原 綾					雷式旋回機銃一	

備考 ▶印ハ機長ヲ示ス  
三、 經 過

昭和十七年八月二十一日〇六五五ヨリ一八三五迄零式水偵三機（延機  
數十二機）ヲ以テA哨區沿岸哨戒並ニ阪警電令作第三九號ニ依ル攻撃  
ヲ實施ス

田村機（第一回）ハ一〇一三檜野崎燈臺一八〇度三溼ニ於テ潛沒敵潛  
水艦ヨリ漏出シツツアル油ヲ發見一〇二二爆撃、續イテ荒木機、笠原  
機、角崎機何レモ一八一八迄反覆爆撃實施  
各機ノ行動經過次ノ如シ

田村機（第一回）

〇九五〇發進檜野崎南方ニ於テ商船ノ前路哨戒中一〇一三檜野崎燈臺  
一八〇度三溼ニ於テ敵機ト約〇、五節ニテ三四度方向ニ進ミツツ湧出  
スル油紋（直徑約五〇浬）ヲ發見之ヲ敵潛ヨリ漏出スルモノト判斷シ

附近艦艇千鳥ヲ誘導一〇三二爆撃四弾投下一〇二四千鳥爆雷投射開始  
爾後荒木機ヲ誘導一〇五五歸着

荒木機(第一回)

一〇三五發進一〇四〇現場着。一〇五二爆撃開始一一〇五爆撃終了三彈  
投下。一一三〇歸着

笠原機(第一回)

一一一〇發進一一一五現場着。附近艦艇千鳥及第三二掃海隊ノ一隻ヲ  
誘導一一二四爆撃開始一一三二爆撃終了四彈投下。爾後油ノ湧出量次  
第三增加スルヲ認メ一一二一五歸着

角崎機(第一回)

一一二五發進一一三〇現場着。第五二艦潛特務艇及第三二掃海隊ノ一  
隻誘導、一二〇〇爆撃開始一二二五爆撃終了三彈投下。一二五〇歸着  
田村機(第二回)一二二五發進一二三〇現場着油ノ濃度及油量更ニ増

大シ連續的ニ湧出スルヲ認ム

一三〇一爆撃開始一三二五爆撃終了四彈投下。一四四五歸着  
荒木機（第二回）

一二五五發進一三〇五江住南方約五哩ヲ航行中ナル真鶴ノ誘導ニ任ジ  
一三四〇現場着、一三四五爆撃開始一四一〇真鶴爆雷投射開始セルヲ  
認ム。一四一七爆撃終了四彈投下。一四三〇歸着

笠原機（第二回）

一四四〇發進一四四五現場着一四五七爆撃開始一五一三爆撃終了四彈  
投下。一五一五第五二驅潛特務艇ノ誘導ニ任ジ一五五七歸着  
角崎機（第二回）

一五四五發進一五五五現場着油跡ノ進行方向八〇度油紋ノ湧出及殆ン  
ド移動セザルヲ認ム

一六一五爆撃開始一六三〇成生。第五二及第五三驅潛特務艇ヲ誘導、

其ノ聯合投射セルヲ認め、一六五四〇爆撃終了四弾投下、一七〇五歸着

田村嶽（第三回）

一六四五〇發進一六四五現場着、一七〇六爆撃開始一七五二爆撃終了四弾投下、一八二三歸着

荒木嶽（第三回）

一七四九發進一七五五現場着、一八〇三爆撃開始一八一八爆撃終了、二弾投下、一八三〇油帶ハ主トシテ四五度方向ニ延長シ其ノ長サ約一〇〇〇米最大巾約五〇米ナルヲ認め、一八三五歸着

#### 四、成 果

(1) 各機各回ノ爆撃ハ敵潜水艦ノ資体ヲ認め得ザリシタメ直接効果不明ナルヲ爆撃ニ依ル油湧出量ノ増大等ヨリ推斷シ何レモ大ナル効果アリシモノト認め

(四) 味方水上艦艇ヲ適切ニ誘導シ爆撃二分後ヨリ艦艇爆雷攻撃ヲ開始セシ  
ヲ以テ其ノ効果甚大ナリシモノト認ム

五、我ガ兵力ノ現狀

(イ) 消耗兵器

六番二號爆彈 一九

六番通常爆彈 一〇

六番陸用爆彈 七

(ロ) 味方被害

ナシ

六、功績

(イ) 海軍飛行兵曹長田村搓十指揮ノ一機(第一回)ハ克ク潛沒敵潛水艦ニ  
リ漏出スル油紋ヲ發見、潛沒敵潛水艦ニ對シ爆撃ヲ加ヘ且水上艦艇並  
ニ僚機ノ誘導ヲアシタルハ其ノ功績極メテ大ナルモノト認ム



(四)海軍中尉荒木泰彦、海軍一等飛行兵曹笠原正敏及海軍一等飛行兵曹角崎良次ノ指揮セル各一機ハ水上艦艇ノ誘導竝ニ潛沒敵潛水艦ニ對シ爆撃ヲ實施直接効果不明ナルモ其ノ功績尠カラザルモノト認ム

七、所 見

(イ)今回ノ敵潛ハ商船ニ對シ略々射<sup>ト</sup>泉附近ニ於テ偶々油ヲ洩曳キツ、アリシタメ發見セラレタルモ、對潛警戒比較的嚴重ナル當方面ニ行動スル敵潛ハ最近來(七月下旬以降)潛沒總音發射ヲ實施シツ、アル傾向顯著ニシテ油ヲ漏出スルモノ、外發見困難ナリ、此種敵潛ニ對<sup>スル</sup>根本的對策策ヲ講ズルノ要アリト認ム

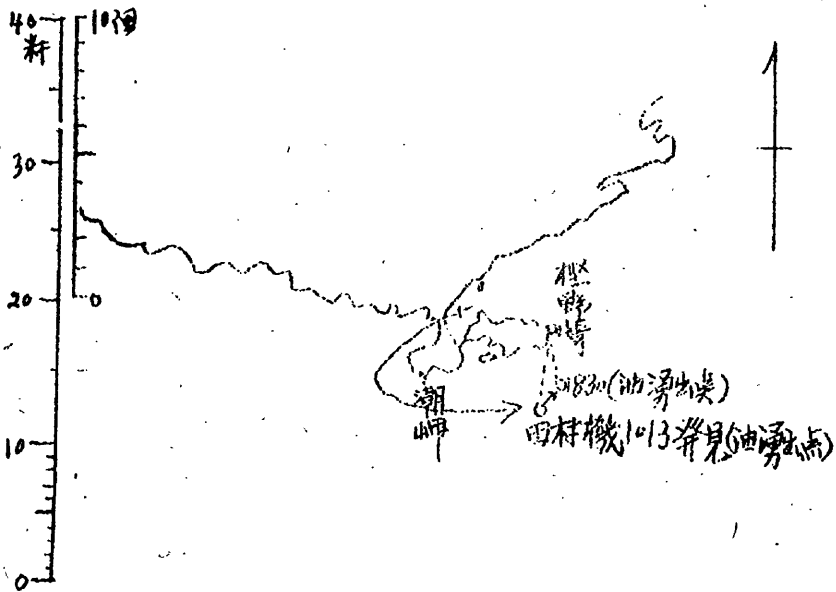
(ロ)對潛哨戒機ハ海面上ノ油ハ細大トナク發見ニ努メ之ヲ綿密ニ調査シツツアルヲ以テ附近行動ノ艦艇船舶ハ油放出ヲ絕對ニ避クル如ク留意スルヲ要ス

(ハ)飛行機ハ油ノ漏出竝ニ油帶分布ノ狀況ヲ極メテ明瞭ニ視認シ得ルモ水

上艦艇ニ於テハ最後迄確認シ得ザリシモノ、如シ從テ今回ノ如ク油  
ヲ曳キツ、アル潛沒潜水艦ニ對スル艦艇ノ爆雷攻撃ハ特ニ飛行機ノ  
適切ナル誘導ヲ必要ト認ム

(終)

1361



飛行機隊行動図と昇見着点図

機名	昇進	帰着	敵発見	爆撃	効果
田村機	0950	1050	1013	1023	不明
荒木機	1037	1119	1042	1052	4
笠原機	1110	1215	1115	1124	4
角崎機	1115	1250	1120	1200	4
田村機	1225	1445	1230	1301	4
荒木機	1255	1420	1300	1345	4
笠原機	1440	1557	1445	1457	4
角崎機	1542	1704	1542	1615	4
田村機	1640	1623	1640	1706	4
荒木機	1749	1835	<del>1749</del> 1803	1803	4

